

一 此度長副召寄申付候義者、去霜月廿日東京出張所官員被召出被

仰渡候次第者、今般諸県御廢シ更ニ新県被建候ニ付而者、当高山県

被廢、筑摩県管轄ニ相成候義者廻状を以布告いたし候得共、下末々

疑惑を生し安心不成趣も有之哉ニ相聞、其惑ひを消サンガタメ申聞ス、

抑当国而已ナラズ諸国一統之事ニ而、当国ノ位ヒ下り候義ニハ決而無之、

御上之御都合ニ寄候次第、ドコモカモ海内皆 王命ニ不随所ナク、

普天ノ下タ卒土ノ浜 王地ニアラザル所更ニナシ、何れ知事様始メ吾

共迄爰ニ此俣被差置候ヤウ、又ハ今日ニモヲラレヌヤウ 王命難計候得共、

仮令筑摩県ニ相成る由も多分松本<sup>デ</sup>有ふと申事なれ共、当国一円

彼地江上納<sup>ソゼイ</sup>万端持運ぶと申事ハ不相成、失<sup>(矢カ)</sup>張出張所と相成、此庁ハ

此俣被 仰付候間、彼是無益之風説を不立テ各其生業に力を

尽し、安心ニ思ひ合、疑惑又ハ騒敷義無之様、此詔長副より村々

役前ハ勿論小前之内もの訳り能きものを始メ、末々ニ至迄逐一ニ申

諭し、動揺不致様、叮嚀ニ申聞候様可致心得之事、